



Seminar of the Kyoto University Museum

京都大学総合博物館セミナー第128回

京都大学総合博物館所蔵の 中国関係資料

2024年3月28日（木）

17:00–18:30

南館2階セミナー室と
Zoomによるハイブリッド開催

★Zoom設定は後日メールで通知します★

京都大学総合博物館では、中国関係の考古資料を数多く所蔵しており、既刊の資料目録や報告書・図録等で基礎的な資料提示を行ってきた。

しかし、今日の研究水準に照らしての検討は十分とはいえない状況が続いてきた。

一方ここ数年で館外からの専門家との共同調査を含め、中国関係の収蔵品の研究を行う機会に恵まれてきたことにより、新たな知見が蓄積してきている。

初唐の俑、漢代の鉄剣および青銅刀、中国北方系青銅器、安陽・殷墟関連資料などについて、最新の研究方法による調査とその成果を解説しつつ、村上が参加している中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ第33回領域セミナーとの合同という形で、博物館セミナーの場にて調査成果の一端を紹介する。

①木器印影付黄土塊（殷代、殷墟出土） ②大理石案破片（殷代、殷墟出土）

③青銅斧石范（西周後期～春秋前期、赤峰紅山後採集） ④鉄剣（前漢、推定中国ないし朝鮮半島北部）



村上 由美子
京都大学総合博物館
准教授



坂川 幸祐
京都大学総合博物館
研究員

問い合わせ

総合博物館セミナー担当：塩瀬・中川

内線：16-7740

Email: museum-seminar@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp